

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム たんぽぽ		
所在地	北海道帯広市東5条南14丁目1番地1 (電話) 0155-20-5837		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月10日	評価確定日	平成21年12月28日

## 【情報提供票より】(平成21年10月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月21日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	12人, 非常勤 5人, 常勤換算 13.7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	2階建ての	~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	23,500円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,400円	月額 42,000円

### (4) 利用者の概要(10月25日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	8名	要介護2	6名		
要介護3	4名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86歳	最低	59歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団博仁会 大江病院	医療法人啓和会 黒澤病院
---------	----------------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者が自分の居場所と思えるよう自分の役割を持ち、楽しく明るく家庭的な環境で暮らせるように管理者を中心に職員全員が一丸となってケアの質の向上に取り組んでいます。秋には、職員と利用者が一緒になって中札内の農家に出向いて大根などの野菜を収穫して醤油漬、にしん漬やたくあんなどの漬物づくりや裏庭やベランダでの野菜づくり、掃除や調理の参加など本人と共に過ごし支えあう関係を築いています。また、ホーム主催の「夏祭り」では、地域のお祭りとして認知されており、地元の人々やボランティアの協力を得て開催され、保育園、幼稚園園児の来訪やお遊戯会などの相互訪問で交流が図られています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時に一時的に避難する場所の確保が改善点でしたが、近郊のスーパーや保育園にお願いして協力していただける関係を築いています。また、今後は更に運営推進会議を通じて地元の人々との協力関係を深めるように取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、普段のケアを振り返る機会やホーム内研修と捉え、職員間で話し合わせ管理者がまとめて作成しています。また、外部評価の結果については、職員で話し合い具体的な改善に向けて取り組み、運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は定期的に開催され、主な議題については ホーム運営状況の説明について 避難訓練について 相互研修について SOSネットワークについて 夏祭り行事開催について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 季節毎に「たんぽぽ通信」を発行し、利用者の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など報告されています。また、来訪時にはケアプランの説明や相談、近況報告を行い、状態変化時など随時、電話で報告しています。家族の意見を聞き、苦情・相談を話しやすい雰囲気作りを心掛け、出された意見は全て話し合い結果を報告し、運営に反映させています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会の役員を引き受け、総会や夏祭り、春秋の清掃作業などの活動に参加し、日常生活を通じて地域の人達との交流や連携に取り組まれています。また、保育園児、幼稚園児との定期的な交流やホーム主催の「夏祭り」では、地元の人々や家族など参加して盛大に開催されています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げており、リビングの見える場所に掲示している。また、職員は常に携帯して理念を踏まえサービスを提供出来るように取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全ての職員は、理念に向けての取り組みに対して、共通認識を持ち、その実践のために具体的な「五つの願い」「七つの誓い」を掲げ日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の役員を引き受け、総会や夏祭り、春秋の清掃作業などの活動に積極的に参加し、日常生活を通じて地域の人達との交流や連携に取り組まれている。また、保育園児、幼稚園児との定期的な交流やホーム主催の「夏祭り」では、地域の人々や家族など参加して盛大に開催されている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、普段のケアを振り返る機会やホーム内研修と捉え、職員間で話し合わせ管理者がまとめて作成している。また、外部評価の結果については、職員で話し合い具体的な改善に向けて取り組み、運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催されている。委員は、家族、町内会役員、民生委員、老人クラブ役員、ボランティア連絡協議会役員及びホーム長・管理者・職員で構成され、ホームの運営状況や取り組みについて意見交換してサービスの向上に活かしている。</p>		<p>今後は、運営推進会議のメンバーに包括支援センターの職員や市の職員の参加を働き掛け、それぞれの立場から意見やアドバイスを頂き、サービスの質の向上に活かせるような取り組みを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市とは日常業務を通じて現状報告や相談ごとなどの意見交換をして共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>季節毎に「たんぽぽ通信」を発行して利用者の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など報告されている。また、来訪時にはケアプランの説明や相談、近況報告を行っており、状態変化時などの報告も随時、電話で報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、外部・内部の苦情の窓口をポスターや重要事項説明書に記載されている。来訪時に家族の意見を聞き、苦情・相談を話しやすい雰囲気作りを心掛け、出された意見は全体で話し合い結果を報告し、運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。また、職員の異動などで利用者に影響を与えないように引き継ぎなどの点に配慮して利用者へのダメージを防ぐ取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>十勝支庁や帯広市、グループホーム協議会など外部研修参加を推進しており、管理者は介護福祉士会やケアマネージャー連絡協議会などの研修会などにも積極的に参加している。また、資格取得には法人も積極的に支援している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会での勉強会や研修会での交流、同一法人内の他施設との連携が行われている。また、「夏祭り」では、他の施設の職員や利用者も参加して行われている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>納得した上でサービスを利用するために、事前に家族や本人にホームの見学を勧めており、少しでも安心して過ごしていただけるよう、家族と相談して協力を仰ぎ、徐々にホームに馴染んで貰えるよう取り組んでいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「してあげる介護」ではなく職員と利用者が食事の後片付けや料理の味付け、洗濯物たたみ、漬物漬け、畑作業などを通じて喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族の状況、要望に応じて、散歩や買い物、外食やドライブ、通院など柔軟に支援を行っている。また、職員の管理の下、喫煙を希望する方にも対応し、本人が希望する生活が営めるよう支援している。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、その人らしく暮らすための課題とケアのあり方について、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブなど、なるべく本人の希望が実現できるように柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が希望するかかりつけ医に受診できるように支援しており、希望や要望に応じた往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。また、常勤の看護職員が配置され、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、ホームで可能な限り対応し、医療機関と連携を密にして利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう職員間で方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の取り扱いについても、十分に注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式で一人ひとりの気持ちが把握され、利用者のその日の希望や思いを尊重し、買い物や調理や食事の準備、畑作業、漬物漬入れ、入浴や食事の時間など本人の希望やペースに添って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っており、利用者の好みや食べたい物を把握し、定期的に希望を聞いて自由献立として提供している。また、焼肉やバイキングなど外食の支援も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	24時間対応できる湯加減になっており、週2～3回を目安に利用者の習慣や体調、希望に合わせて入浴を楽しめるように柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や希望に応じて、買い物や調理や食事の準備、畑作業、漬物漬けなどの役割ごとや畑での野菜の収穫や歌唱、外食や買い物、気晴らしのための散歩やドライブなどの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物、浴衣を着てホーム主催の夏祭りや地域の盆踊りの参加、紅葉狩りや芽室公園の菖蒲見学、菊祭り見学など戸外に出かけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、自由に出入りができるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置されており、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように年2回避難訓練を実施している。また、火災等の緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を作成しており、緊急時に備えた非常食も保管され対応されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導のもと栄養バランスやカロリーを把握されており、一人ひとりの体調に合わせた食事を提供している。又、具体的な食事摂取量・水分補給量も記録され対応されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は広く、歩行訓練やミニ運動会に利用され、利用者が職員や来訪者の視線や圧迫感を遮る工夫された構造になっている。また、共用空間の壁には、行事や日常生活の写真や季節感を感じさせる飾り付けがなされており、利用者にとって気になる臭いや不快な音の大きさ、光の強さは感じられない。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家族の写真や手芸作品などの思い出のある品を飾り、使い慣れた家具や仏壇なども持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族が宿泊できる和室が用意されている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。